

会津若松市

まち・ひと・しごと創生包括連携協議会

平成29年8月9日



市長プレゼンテーション

**「スマートシティ会津若松」及び
「地方創生」関連事業の
取組と展望について**

ICTに取り組む環境づくり(1)-実証フィールドとしての会津若松市-①

会津若松市の地方創生

スマートシティ会津若松

ICTなどを、生活を取り巻く様々な分野で活用し、将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会と、安心して快適に暮らすことのできるまちづくりを推進する。

- 市民生活の利便性・安全性の向上
- ICT関連産業の集積
- 市民所得の向上

会津若松市の方向性

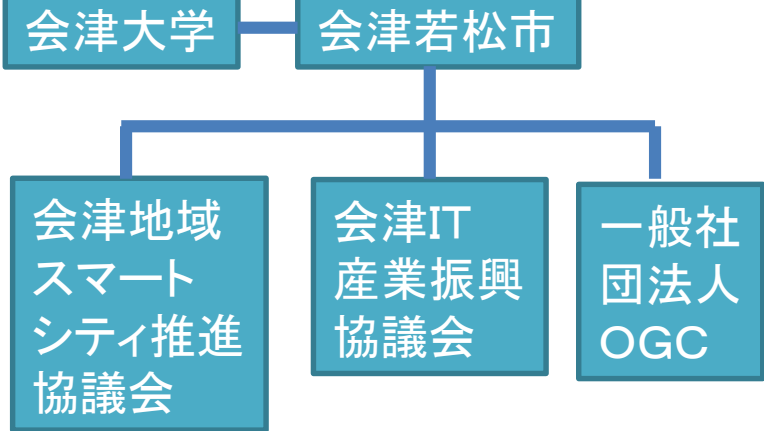
スマートシティ会津若松の推進

=さまざまな分野においてICTを活用した産業創出・人材育成

⇒ 実証地域として、地方創生のモデル都市となり、
他の地域へ展開可能なモデルとなることを目指す

I C Tに取り組む環境づくり(1)-実証フィールドとしての会津若松市-②

地方版IoT推進ラボ (会津地域IoT推進ラボ)



平成28年7月31日

- 全国規模の「IoT推進ラボ」の設立にあわせて、経済産業省とIoT推進ラボが第一弾として選定。
- 「アナリティクス・IoT関連産業集積を目的としたディープデータ・ビッグデータテストベッド」の構築

地域IoT官民ネット



平成29年7月11日

- 全国のIoT推進に意欲的な自治体、IoTビジネスの地方展開に熱心な民間企業、総務省等が連携し、地域へのIoT実装を推進するために設立。
- 会津若松市は設立発起人として参画。

I C Tに取り組む環境づくり(2) I C T人材の育成とオフィスの整備-①

公立大学法人 会津大学

(平成5年 開学)

「THE 世界大学ランキング 日本版2017」

国内全体 23位 (公立 2位)

- ◆コンピュータ理工学部の単科大学で、在籍者数1026人（2016.10.1）、**コンピュータサイエンス領域で学生数は全国1位。**
- ◆コンピュータサイエンス領域で研究者数は**全国1位**。111名（2016.10.1）
- ◆学生数に対する**大学発ベンチャー数で日本一**。
学生1000人あたりの数:17.82件（2014.1.8） * 2位:九州工業大学6.87件
- ◆**外国人教員が約4割**、世界に向けて発表された研究論文は毎年平均300本、**高い国際性**。

課題

◆約6割が県外から入学、しかし、卒業時には約8割が県外へ就職



◆ICT関連産業の集積

◆アナリティクス人材の地域内定着

I C Tに取り組む環境づくり(2)- I C T人材の育成とオフィスの整備-②

サテライトオフィス誘致事業 ～お試し企業移転体験～

歴史的な建造物である建物を改修することで **体験型サテライトオフィス**とし、
オフィス移転を検討している企業に対して、無料で貸し出し
会津へのオフィス移転を体験してもらうことで、**今後の企業誘致活動につなげる拠点づくりを推進**

※遠隔勤務（テレワーク）ができるような通信設備や機能を整備

(第1号) 旧市長公舎

延176㎡ H27年12月開所



大正14年建築の古民家を改修し、
オフィススペースと会議室を備えた
サテライトオフィス



(第2号) 旧黒河内医院

延189㎡ H29年3月開所

昭和11年建築の洋館を改修し、
オフィススペースと会議室を備えた
サテライトオフィス



ICTに取り組む環境づくり(2)- ICT人材の育成とオフィスの整備-③

ICTオフィス環境整備

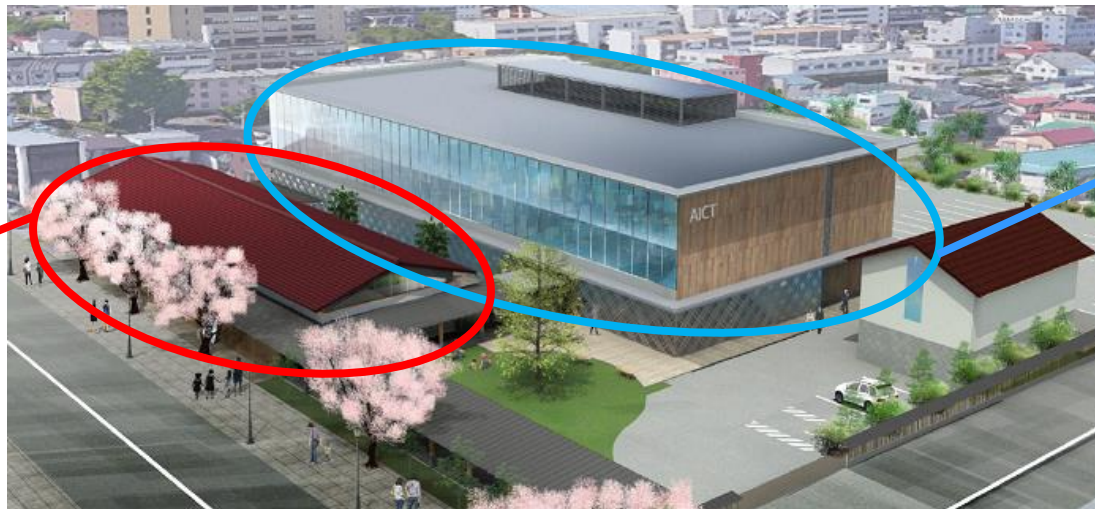
- ICT関連企業を東京から誘致するためのオフィス環境を民間企業と協力しながら整備
- 首都圏から**500人規模の高付加価値部門の誘致を目指す取組**

- しごと：地域の雇用創出
- ひと：会津大学卒業生などのICT人材の地域定着
= 若者の東京への流出防止
- まち：ICT関連企業・データ分析産業を集積することで新しいまちづくりを推進
= 会津のブランディング（データ分析のメッカに！）

地方創生のカギ
ICT産業集積の象徴
となる事業

交流棟

オープンイノベーションとして会津大学や地元ベンチャー企業等を含め多様な団体が入居・集う場所を想定(カフェ含む)



オフィス棟 (500名規模)

- ・首都圏等からの移転企業の入居スペース
- ・ICTやIoT関連企業の入居を想定

地方創生 & ICT 関連事業の取組(1)-スマートアグリ

スマートアグリ

- ▶ 農業用ビニールハウスに、センサー（土壌、日射、温度）や給水施肥装置を設置し、タブレット端末で操作。
- ▶ 土壌の見える化、情報収集、培養液の自動供給が可能。
- ▶ これにより、
 - 収穫量の増加
 - 品質の安定化
 - 未経験者の就農支援
 - 省力化 を推進！

(左図)
養液土耕システム



(右図)
トルコギキョウの
生産状況

労働時間の短縮
(トルコギキョウ生産農家の例)

H26 : 3050時間
H27 : 2988時間 ↓ 効率2%UP
62時間減

地方創生 & ICT 関連事業の取組(2)-市民生活の利便性向上への取組-①

地域情報ポータル「会津若松+（プラス）」

～ ぱっと見たら... 欲しい情報がゲットできるウェブサイト ～
お薦め情報を個人の属性に応じて、プッシュ型でレコメンド発信

事業概要

➤市民にとって必要な地域情報を
ワンストップで取得可能
⇒自分から情報を求めることが不要

➤個人の属性情報を踏まえ、
(年齢・性別・家族構成・趣味嗜好)
個人にとって必要な情報を取得し、
レコメンド表示
⇒自分専用のウェブページで
必要な情報を
「会津若松+プラス」で表示



市民と行政・地域の
コミュニケーション率が上昇

①属性情報や希望・要望に応じたコンテンツを提供

③カレンダー・グラフ・地図などを用いてわかりやすく情報提供

⑤重要な文書は「MyPost」でやりとり

④マルチデバイス対応

②個人の属性情報に基づき“おすすめ”コンテンツを表示



地方創生 & ICT 関連事業の取組(2)-市民生活の利便性向上への取組-②

地域情報ポータル「会津若松+（プラス）」

▶ 「除雪車ナビ」



除雪車にGPS端末を搭載し、除雪車の位置と稼働状況をお知らせ

▶ 「母子健康情報サービス」 母子手帳の電子化



乳幼児健診や予防接種の受診データから、身長・体重発育曲線や予防接種予定日などを連携して表示

▶ 「あいづっこプラス」



「学校だより」「学級情報」などを保護者のスマートフォンに直接、情報発信！

地方創生 & ICT 関連事業の取組(3)-中山間地域の活性化支援-

ICTを活用した中山間地域づくり

中山間地域の利便性向上・活性化へ

「生活支援システム」

- 会津若松プラスと連携した行政情報
- 中山間地域内の狭域の地域情報
- 地域内交通の運行情報
- その他生活に役立つ情報

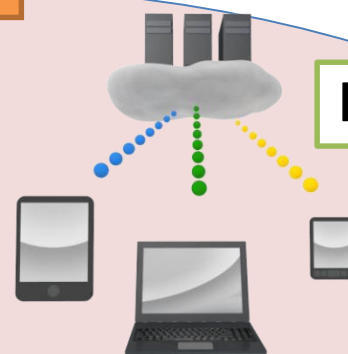


テレビを情報
端末に活用

↓
テレビのHD
MI端子と光
BOXを連結
各家庭に提
供し実証化



「通信網の整備」



「地域内交通」

- デマンド型
乗合自動車の運行
- 地域が運行する
組織・仕組みづくり
- 複合的な交通
サービス

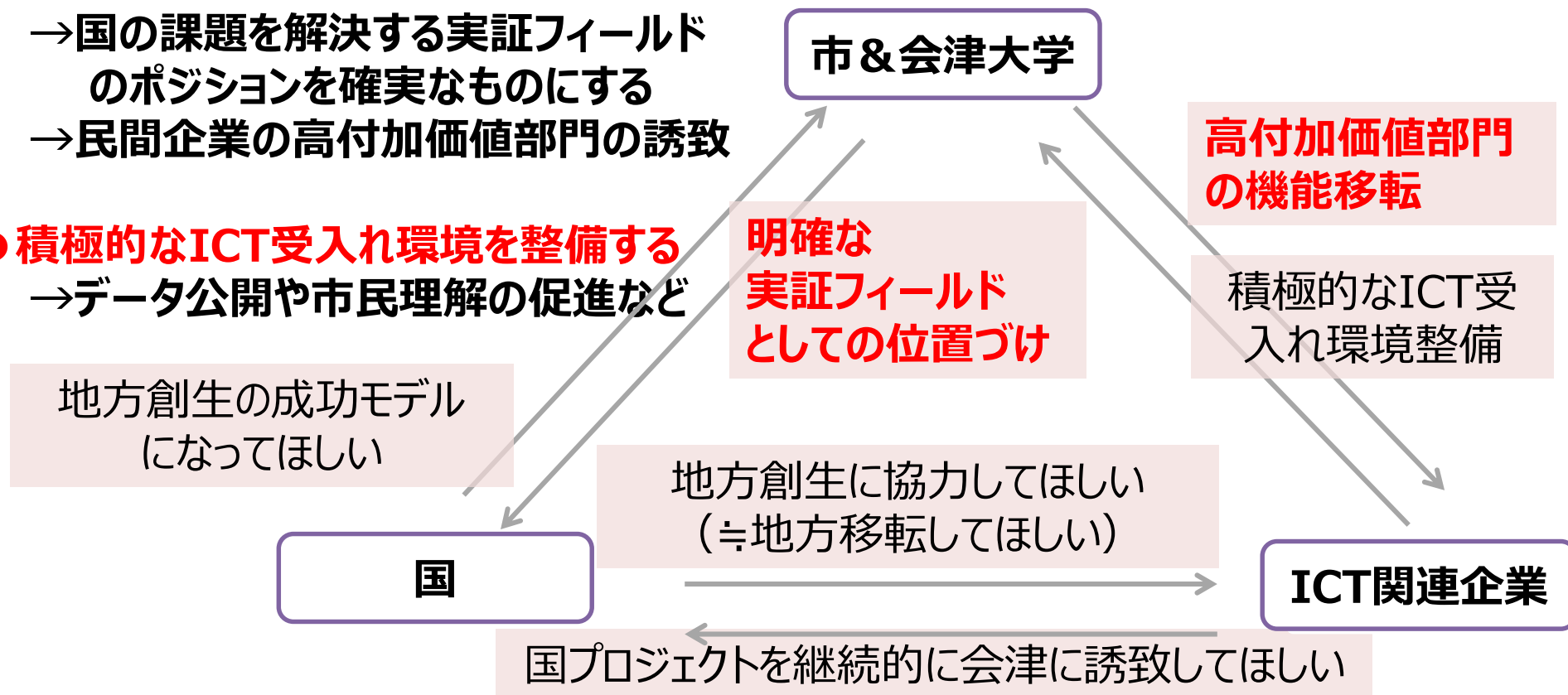
(実証地域)

湊地区地域活性化協議会

まとめ－『スマートシティ会津若松』における産官学の連携対策－

- **会津をICT・IoT産業の集積地とする**
 - 国の課題を解決する実証フィールドのポジションを確実なものにする
 - 民間企業の高付加価値部門の誘致

- **積極的なICT受入れ環境を整備する**
 - データ公開や市民理解の促進など



point

国の課題を実証する適正規模のICT実証フィールドが必要

⇒ **会津をICT関連の実証・集積地と決め、実証事業を国として実施することが期待**